

ニュースレター  
報道関係各位

入江工研株式会社

---

## 入江工研 創業60年を振り返る 抽選から生まれた唯一無二の会長像 その制作背景を公開

---

半導体製造装置・高速鉄道等に活用されるペローズ※の開発・販売を手掛ける入江工研株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長 入江 則裕 以下、当社）は、当社中山工場（愛媛県伊予市）の玄関ホールに設置されている「会長像」について、その制作背景に関する情報を公開いたします。

当社中山工場の玄関ホールには、創業者である元会長・故入江則公の姿を精巧に表現したブロンズ像が設置されています。本像は、2016年に都内の老舗百貨店で実施された特別企画において、当社社長が抽選により制作権を得て制作されたものです。

このたび、制作元である黒谷美術株式会社（富山県中新川郡立山町）の黒谷政弘社長に取材を行い、会長像の制作にまつわる貴重なエピソードが明らかになりました。



中山工場玄関ホールに佇む会長像（北井博文氏制作）

黒谷社長によれば、当時の老舗百貨店による特別企画は、「ぜひ目玉となる作品を提供してほしい」という百貨店側からの依頼によって実現した特別案件であったとのこと。通常、銅像制作には企画価格の2~3倍の費用がかかるのが一般的であり、特別価格が成立した背景には、黒谷美術が長年にわたり培ってきた技術力と信頼がありました。

また、銅像の価格は作家の力量や作品が放つ存在感によって大きく左右されるため、絵画と同様に“言い値”で決まるケースもあるといいます。芸術作品の世界における独自の価値観が表れている点として興味深いものがあります。

会長像を制作した北井博文（きたいひろふみ）氏は、東京藝術大学出身の彫刻家であり、人物像のリアリティ表現に高い評価を得てきた作家です。その後、著名人の記念像を手掛けるなど、幅広い作品を残しました。黒谷社長は北井氏の技量について、「似せて作る作家は他にもいる。しかし、銅像に引き込まれるような存在感を与えられる作家は北井氏だけだった」と語っています。北井氏はすでに逝去されており、同等の作品を生み出せる作家は現在存在しないとのこと。当社中山工場の会長像は、まさに再現不可能な唯一無二の作品といえます。黒谷社長が当社を訪問した理由も、北井氏の作品を後世に記録として残すためでした。

さらに、会長像の細部にわたる皺や質感を実現しているのは、仏像や美術館級の彫刻にも用いられる高度な鑄造技術「ロストワックス鑄造法」です。原型の繊細なディテールを忠実に再現できる技法であり、会長像の圧倒的な存在感を支えています。

当社中山工場の玄関ホールに静かに佇む会長像には、老舗百貨店が特別に依頼するほどの技術力、芸術作品ならではの価値の決まり方、著名人像を手掛けた名匠による制作、再現不可能なレベルの作品性、美術館級の鑄造技法といった数々の背景が秘められています。当社を訪れる皆さまには、ぜひその物語にも思いを馳せながらご覧いただければ幸いです。

## ■ こぼれ話

制作権の抽選に参加するため、当社代表が都内の百貨店を訪れた際、偶然その場にいた情報番組の取材班から声をかけられ、突撃取材を受ける一幕がありました。

その様子は現在も映像として残されています。

※「ベローズ (Bellows)」とは、日本語に訳すと「蛇腹」という意味を持ちます。工業製品でいう「蛇腹」とは紙・布・プラスチック・金属などの膜ないしは板状の部材で作られる、山折りと谷折りの繰り返し構造の製品です。真空を扱う分野では、一般に金属で製作した筒状のものにひだを設け、伸縮性・気密性・バネ性を持たせたものを「ベローズ」と呼んでいます。つまり、「ベローズ」＝「伸縮管」です。

入江工研株式会社 会社概要

代表者 : 代表取締役社長 入江則裕

設立 : 昭和 41 年 5 月 24 日

資本金 : 1 億円

住所 : 〒100-0011

東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 414

電話番号 : 03-3507-9611 (代表)

FAX : 03-3507-9615 (代表)

アクセス : <https://maps.app.goo.gl/iSsyCWrXXgq2rzDE6>

従業員数 : 196 名 (2026 年 3 月 31 日現在)

<本件に関するお問い合わせ先>

入江工研株式会社 経営企画室 広報係 担当 村山

TEL:03-03-3507-9617/ Fax: 03-3507-9615

Mail: [koho@ikc.co.jp](mailto:koho@ikc.co.jp)